

# がん治療に変革をもたらす “がんゲノム医療”

2023年度 キャンサーボード共催

## 第2回 腫瘍センター講演会

日時:2024年3月6日(水) 18:00~19:00

場所:病院 第4会議室(4F)

対象:全ての医療従事者、教職員、学部生、大学院生 ※学内のみ

講演1 「膵がんにおけるKRAS遺伝子変異について」

18:00~18:10

滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科 特任講師

てらもと こうじ

寺本 晃治 先生

特別講演 「地方におけるがんゲノム医療の真の役割を考える

18:10~19:00

～地方国公立大学がんゲノム拠点病院の重要性～」

三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部 教授

おくがわ よしなが

奥川 善永 先生

がんの遺伝子を解析して治療に生かす「がんゲノム医療」は、がん治療に変革をもたらすポテンシャルを有し、患者さんからの期待度も非常に高まっています。このがんゲノム医療について基本からわかりやすくご講演をいただく貴重な機会ですので、是非ご参加下さい。

本講演会に関するお問い合わせ先

<院内から>

PHS 8931 (腫瘍センター看護師長)

メール [satoshi@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:satoshi@belle.shiga-med.ac.jp) (腫瘍センター副センター長 村田聡)

主催: 滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター

共催: 滋賀医科大学先端がん研究センター

後援: がん診療連携拠点病院機能強化事業 がんゲノム医療中核拠点病院等機能強化事業

滋賀県がん診療人材育成・支援体制構築事業 滋賀県がんゲノム医療体制整備事業

滋賀県がん治療病床および外来機能分化促進事業

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン～高度化・多様化するがん医療を担う人材育成～

コホート・生体試料支援プラットフォーム

